

Title	学習成果発信型のリアルタイムオンライン授業：動画作成を取り入れたドイツ語授業実践
Author(s)	西出, 佳詩子
Citation	言語文化共同研究プロジェクト. 2023, 2022, p. 75-85
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/91531
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

【実践報告】

学習成果発信型のリアルタイムオンライン授業 —動画作成を取り入れたドイツ語授業実践—

西出 佳詩子

1. 本授業の位置づけと目標

本稿では、大阪大学マルチリンガル教育センター開講のマルチリンガル教育科目の1つである「地域言語文化演習Ⅲ（ドイツ語）」の授業実践をとりあげる。「地域言語文化演習」という科目は、第2外国語の学修によって身につけた語学力を活かしつつ、さらに語学力を伸ばしながら、背景となる文化理解を深め、世界の多様な歴史、文化、社会、科学等についてのグローバルな理解の促進と豊かな教養にもとづくコミュニケーション力の育成を目指した科目である（大阪大学 2022: 10ff.）。本授業は学部2年生対象で、筆者は2021年4月～8月（全15回）に担当した。英語以外の外国語の学びを通して、母語や英語を相対化し、様々な視野から課題解決に挑むことを念頭に、場面や状況に即したドイツ語運用能力の涵養を目指した。具体的には、以下の3点を授業全体の目標として設定した。3つ目の目標にあるドイツ語母語話者との交流については、次章で詳述する。なお、本授業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンライン会議システム zoom¹を用いた同時双方型の授業として実施した。

授業目標

- (1) 自らドイツ語を能動的に使うことによって、知識を深めることができる
- (2) ドイツ語の多様な学び方を経験し、それを自らの学習に積極的に活用することができる
- (3) ドイツ語母語話者との交流において、相手の文化、歴史、社会に対する理解を深めるとともに、自国の文化、歴史、社会についても考え、自ら発信することができる

2. 学習成果を発信するための場

自らドイツ語を能動的に使えるようになる（授業目標1）には、ドイツ語を実際に使って発信する場を設ける必要がある。そこで、本授業では2つの場を用意した。一つは、Flip²の活用である。Flip（旧称：Flipgrid）とは、マイクロソフトのサービスで、教育向けの動画プラットフォームである。練習や学習の成果を音声や動画のかたちでクラス内で共有かつ閲覧することが可能で、相互評価としてコメントも入力することができる。また、動画の撮影から編集、提出までの一連の作業を本プラットフォーム上で行えるのも大きな特徴である。

¹ <https://zoom.us/>（2023年5月27日閲覧）

² <https://info.flip.com/en-us.html>（2023年5月27日閲覧）

スマートフォンやタブレット端末の場合はアプリをインストールし、パソコンの場合はウェブサイトからサインインすればよい。

もう一つは、ドイツの大学で日本語を学ぶ学生との日独ビデオ交流の場である³。ドイツ側は、ポーフム大学ならびにアーヘン工科大学の日本語クラスの学生である⁴。専攻は各自異なり、日本語の習熟度は初級（A1 もしくは A2）レベルである。一方、日本側は大阪大学でドイツ語を第二外国語として学ぶ学部 1 年生ならびに 2 年生で、理系学部（工学部、基礎工学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部）、文系学部（文学部、人間科学部、法学部、経済学部）ともに含まれる⁵。本交流では、自己紹介をはじめとし、食文化、大学、地元の名所・名跡、ことわざなどについてのプレゼンテーション動画を交換する。時差の都合上、授業内でリアルタイムの交流を行うことはできないが、先に紹介した Flip を活用することによって、動画のかたちで交換することができる。学びの成果を実際に発信する機会としてうってつけの場と判断し、本授業ではこれら 2 つを活用することにした。

3. 実践授業

3.1 とりあつかったテーマ

紹介する授業は、2021 年 4 月～8 月（全 15 回）に実施された医学・歯学・薬学部 2 年生の混合クラス（37 名）である。学生たちは、1 年次に 90 分×週 2 コマのドイツ語の授業を 1 年間履修済みである。1 年次ではドイツ語の初級文法を中心に学び、同時に、身近なテーマに関するコミュニケーションを中心としたドイツ語の運用力も身に付ける。本授業を履修した学生は、前年度まで、文法を中心とした学習を経てきた者が多く、ドイツ語を使って学習成果を口頭発表した経験がある学生は 37 人中わずか 4 人で、ドイツ語によるプレゼンテーションはほとんどの学生にとって初めての経験であった。

表 1 は、動画のテーマと各テーマに充てた授業回を示したものである。

表 1 動画のテーマと作成準備等に充てた授業回

	動画のテーマ	動画作成準備とふりかえりに充てた授業回
①	「自己紹介をする」	第 2 回～第 4 回
②	「 地元の町を紹介する 」	第 5 回～第 7 回
③	「自国の食文化を紹介する」	第 8 回～第 11 回
④	「料理や菓子のレシピを紹介する」	第 12 回～第 15 回

授業では、計 4 つのテーマをとりあつかった。自己紹介動画は、動画交流プロジェクト

³本ビデオ交流の詳細については、岩居（2019）を参照のこと。

⁴本動画交流プロジェクトには計 74 名の学生が参加した（2021 年度春夏学期時点）。

⁵本動画交流プロジェクトには計 166 名の学生が参加した（2021 年度春夏学期時点）。

に関わる上で、日独双方の学生を互いに知ることを目的に作成した。挨拶、名前、出身、居住地、年齢、所属学部、家族構成、趣味について、1年次に学習した単語や文法の復習も兼ねて紹介した。2つ目の地元の町紹介は、「人や物を描写する」という学習目標が発端となって取り組んだテーマで、計3回（第5回～第7回）の授業時間を充てた。本稿では、以下、この町紹介の動画作成の取り組みをとりあげる。3つ目と4つ目のテーマはいずれも「食」に関わるが、説明内容と動画の長さの点で異なる。前者は、自国の食文化を説明した上で、手軽に作れるお気に入りの料理や菓子を1つ取り上げ、5分以内で説明するのに対し、後者は、前回とは別のものを1つ選び、そのレシピを5分前後で紹介した。台所で自ら実演しながら調理の仕方を紹介する学生も少なくなく、まるで料理番組のような工夫を凝らした動画も複数みられた。

3.2 紹介動画の作成

動画を作成するにあたり、授業では以下3つのプロセスを重視した（図1）。

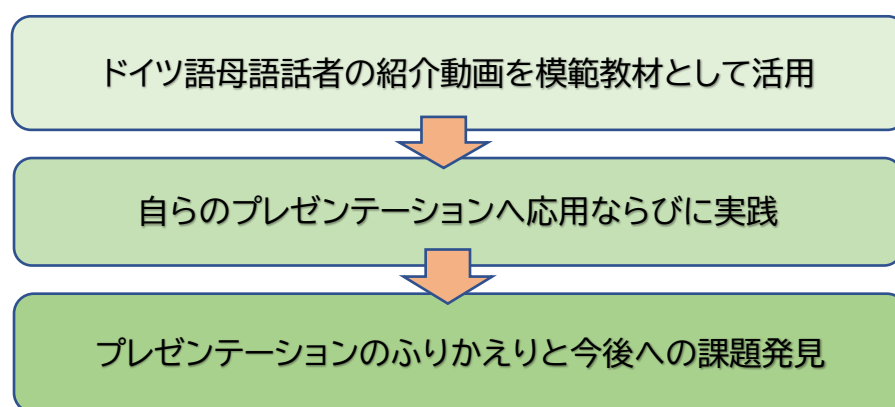


図1 動画によるプレゼンテーションのための主なプロセス

本授業では、開始当初から、ドイツ語母語話者による生のドイツ語を数多く学生に聞かせることを重視したことから、紹介動画のシナリオ作成においても、ドイツ側の学生がどのように地元を紹介しているのか、彼らの動画を模範とした。例えば、ドイツ語のシナリオについては、難易度の都合上、1年次に学んだ文法や単語・表現が比較的多く用いられ、ある程度の長さを保ち、紹介文として完結しているシナリオを教員があらかじめ選び、それを1つの手本とした。具体例は、次節で詳述する。手本とするシナリオは、発音練習や単語の聞き取り、定形表現の意味確認といったドイツ語の文法や単語の知識を復習する目的と同時に、プレゼンテーションという1つの言語行為に求められるテーマ提示、話題の切り替え、結びの挨拶といった必須要素を確認するためにも重要な資料である。

次は、上記で学んだことを自らのプレゼンテーションに活かす段階である。シナリオならびに動画作成時の留意点として、あらかじめ、テーマの提示、表現の豊かさ、発話音

声、発表態度、視覚的工夫の5点を考慮するよう指示した。手本としたドイツ語シナリオと全く同一にする必要はなく、多少オリジナリティを加えるよう指示した。シナリオの作成時には、辞書や機械翻訳の使用を認めたが、自分で正確に発音できない難解な単語は避けること、機械翻訳が訳出したドイツ語文をそのままコピーして貼り付けるのではなく、ドイツ語から日本語へ逆翻訳するなどして、内容面での確に伝わる文になっているかどうか自分で必ず確認すること、そして1文が極端に長くならぬようあらかじめ注意喚起した。というのも、作成途中のシナリオに目を通すと、これらの現象が散見され、特に、内容のわかりやすさの面で改善の余地があると教員が判断したためである。なお、プレゼンテーションは、ドイツ語と日本語の2言語で行うこととした。撮影時は、学生自らがドイツ語を話している様子がわかるよう、動画内で顔出しすることとした⁶。図表や写真、イラストの挿入といった編集は個人の判断に任せ、完成したら Flip の指定箇所へ提出させた。

提出後は、同じクラスのメンバーやドイツ側の学生の紹介動画を見る時間を設け、ルーブリックを使ってピア評価を行った。これは、動画作成時の留意点でもあったテーマの提示、表現の豊かさ、発話音声、発表態度、視覚的工夫の5点がどの程度なされているかに加え、今後自らも使ってみたい表現や視覚的効果を見つけるふりかえりとして位置付けた作業である。記入済み評価シートは、各学生に配布した。また、日独動画交流の観点から、Flip のコメント機能を活用し、リアクションコメントを記入するあるいは Like スタンプ（ハートのアイコン）を押す時間も設けた。時期によって多少の差はあるものの、本稿で紹介する町紹介の回では、概ね全員がドイツ側からコメントを得ていた。

4. 学生の作成動画例～地元の町紹介～

授業では、様々な都府県の紹介動画が 33 本作成され、視聴回数は 1842 回にのぼった（表 2）。

表 2 地元の町紹介動画でとりあげられた内容

・大阪府・・・富田林市の見どころ、大阪城の歴史と見どころ、八尾市の産業（例：歯ブラシの生産）と見どころ、羽曳野市の古墳や出身スポーツ選手、あべのハルカス、ユニバーサルスタジオジャパン、箕面市のみどころ
・岡山県・・・美観地区、倉敷のジーンズ、帆布
・和歌山県・・・和歌山城の歴史、有田みかんなど、喜志駅の猫駅長
・愛知県・・・豊田市、名古屋めし、名古屋城の鯨、犬山市と犬山城、明治村
・京都府・・・金閣の歴史と見どころ、祇園祭、城陽市の見どころ、清水寺や錦市場の歴史
・愛媛県・・・伊予かん、鯛めしやじゃこ天、松山城

⁶ 顔を出すことに抵抗を感じる場合は、アバターを利用してもよいとしたが、本授業の履修者で顔出しを拒んだ者はいなかった。

・兵庫県・・・神戸のハーバーランド、掬星台からの夜景、異人館、姫路城の歴史、芦屋市
・鹿児島県・・・鹿児島の自然
・福岡県・・・福岡タワー、明太子やラーメン
・奈良県・・・奈良公園、東大寺、天理市
・東京都・・・芝公園、秋葉原のアニメ文化
・香川県・・・四国八十八カ所霊場、お遍路、讃岐うどん
・滋賀県・・・琵琶湖

以下では、このうち2名の学生のドイツ語シナリオを紹介する。
まず、シナリオ作成にあたり事前に参考にしたドイツの学生の紹介シナリオを以下に1つ抜粋する。

Frankfurt liegt im Zentrum Europas und ist nach Berlin, Hamburg, München und Köln die fünftgrößte Stadt in Deutschland. Frankfurt hat einen großen internationalen Flughafen und es finden hier viele Messen statt, z.B. die Automobilmesse und die Buchmesse. Über 400 große Banken haben hier ihren Sitz. Die Stadt ist auch der Geburtsort des Dichters Johann Wolfgang von Goethe. Er ist 1749 hier geboren ...

フランクフルトはヨーロッパの中心に位置し、ベルリン、ハンブルク、ミュンヘンそしてケルンに次いで国内で5番目に大きい都市です。フランクフルトには大規模な国際空港があり、多くの見本市が開催されています。例えば、自動車見本市、書籍見本市です。400を超える大手銀行がフランクフルトに本店を構えています。フランクフルトは、詩人ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテが生まれた場所でもあります。彼は1749年に生まれました。
(日本語訳は筆者)

フランクフルトの位置や大きさを冒頭で述べた後、フランクフルトを代表する施設や催し物、人物について具体例や数字を交えながら紹介している。ドイツ語のテキストについても短い主文が連なって構成されている。学生によっては、1つだけでなく複数の動画を自発的に視聴し、使いたい単語や表現を自分でメモした者もいた。

では、学生はどのようなテキストを作成したのか。以下、順番に示す。

例1

*GutenTag! Ich heiße XXX. こんにちは、私は XXX と言います。
Ich bin 19 Jahre alt und studiere Pharmazie. 19歳で、薬学を勉強しています。
Heute möchte ich euch die Präfektur Osaka vorstellen, wo ich seit 16 Jahren lebe.
今日は私が16年間住んでいる大阪府について紹介します。
Osaka ist nach Tokyo die zweitgrößte Präfektur in Japan.*

大阪府は東京に次いで日本で2番目に大きな県です。

Sie hat die zweitkleinste Fläche unter den 47 Präfekturen Japans, aber die drittgrößte Bevölkerung von etwa 8,8 Millionen.

面積は日本の47都道府県のうち2番目に小さいですが、人口は約880万人で、3番目です。

Es ist eine große Stadt. 規模の大きな街です

Ich wohne in Minoh, Osaka. Minoh hat Berge und Grünflächen, aber auch viele Wohngebiete und Geschäfte. Es ist also eine gute Stadt zum Leben.
私は箕面市に住んでいて、箕面は山や緑がありますが、住宅やお店も多く暮らしやすい街です。



Die zentrale Stadt der Präfektur Osaka ist die Stadt Osaka, wo sich die große Stadt Umeda und das Schloss Osaka befinden.

大阪府の中心的地域が、大阪市で、大都会の梅田や、大阪城があります。

Das Schloss wurde 1583 von Toyotomi Hideyoshi erbaut.

大阪城は1583年、豊臣秀吉によって建てられました。

In der Nähe der Schloss Osaka gibt es eine große Konzerthalle, die Osaka-jo Halle, die 16.000 Menschen fassen kann.

大阪城の近くには、16000人収容できる、大阪城ホールという大きなコンサートホールがあります。

Viele berühmte Sängerinnen und Sänger geben das ganze Jahr dort Konzerte. Ich besuche etwa jedes Jahr Konzerte in der Halle.

大阪城ホールでは年間を通してたくさんの有名な歌手がコンサートを行っています。

私もほぼ毎年そのコンサートに行きます。

Es gibt auch ein Viertel namens Shinsaibashi in der Stadt Osaka, das sehr lebendig ist.

大阪市には心齋橋という地区もあり、とても賑やかです。

Dort gibt es viele Geschäfte und können Sie gerne einkaufen und essen.

そこにはたくさんお店があって、買い物や食事を楽しめます。

In der Tat gehe ich oft mit meinen Freundinnen nach Shinsaibashi.

実際に、私もよく友達と心齋橋に出かけます。

Das Schild von Glico ist das Wahrzeichen von Shinsaibashi.

グリコの看板が齋橋のシンボルマークです。

In der Nähe von Shinsaibashi gibt es ein berühmtes Comedy-Theater, "Namba Grand Kagetsu".

心齋橋の近くには、「なんばグランド花月」という有名なお笑い専門の劇場があります。

Osaka ist berühmt für seine Komödie-Kultur. 大阪はお笑いの文化で有名です

Durch den Einfluss des Dialekts sind viele Menschen in Osaka humorvoll und freundlich.

方言の影響もあって、大阪では面白かったりフレンドリーだったりする人が多いです。

Wenn Sie nach Osaka kommen, versuchen Sie bitte, diese Orte zu besuchen.

大阪に来る際は、ぜひこれらの場所に行ってみてください。

例1の学生は、大阪府の位置を日本地図で図示した上で、大阪府の人口の数字（8.8 Millionen Einwohner）を地図の下に挿入し（例1内写真）、大阪城などの名所の写真を複数枚見せながら、4分19秒の動画を作成した。波線部は、ドイツの学生の紹介シナリオ（複数

点)を参照し、自分も使ってみたいと考えていた表現である。例えば、面積の大きさや人数の多さの表し方 (*die zweitkleinste Fläche, die drittgrößte Bevölkerung*) や建物の建立時期の表し方 (*Das Schloss wurde 1583 von Toyotomi Hideyoshi erbaut.*)、位置の表し方 (*In der Nähe der Schloss Osaka gibt es~.*)に加え、動画の視聴者に来訪を呼びかける表現 (*Wenn Sie nach Osaka kommen, versuchen Sie bitte, diese Orte zu besuchen.*)をも活用している。手元のドイツ語シナリオを時折見ながら発話していたものの、本動画にはドイツ側から図2のような肯定的なリアクションコメントが寄せられた。



図2 例1の動画に対するリアクションコメント

(墨消しは筆者による)

次に示す例2の学生は、1分52秒と短い動画ではあるが、岡山県的美観地区について紹介した。

例2

Guten Tag. Mein Name ist XXX. Ich bin 19 Jahre alt. Ich studiere Medizin.

こんにちは。私の名前はXXXです。19歳です。医学を勉強しています。

Heute möchte ich euch mein Lieblingsort, Bikan-Bezirk vorstellen.

今日は皆さんに私のお気に入りの場所、美観地区を紹介したいと思います。

Bikan-Bezirk liegt in Kurashiki, in Okayama. Man sieht dort alte japanische Stadtbild.



美観地区は岡山県倉敷市にあります。美観地区では日本の古い街並みが見られます。

Sie können dort japanische Süßigkeiten wie Dango essen.

そこでは団子などの和菓子を食べることができます。

Sie können auch Waren aus Denim kaufen, eine Spezialität von Kurashiki.

また、倉敷の名産であるデニムを使ったグッズを買うこともできます。

Es macht Spaß, dort einfach spazieren zu gehen.

そこを散歩するだけでも楽しいですよ。

Außerdem, die Boote, die den Fluss befahren, bieten eine wunderschöne Aussicht auf die Stadt.

Bitte besuchen Sie Bikan-Bezirk.

さらに、川を運行する船から街の素晴らしい景色を味わうこともできます。

美観地区にぜひ来てください。

例2の学生もドイツの学生が用いていた表現(波線部)を数多く取り入れている。例えば、テーマの提示方法(*Heute möchte ich euch ~ vorstellen.*)、man や Sie を主語とした説明の仕方(*Man sieht dort ~., Sie können~.*)を活用している。また、プレゼンテーションの締めくくりとして、*bitte* と共に命令文で視聴者に来訪を勧めている。この動画に対してもドイツ側から図3のようなコメントが寄せられ、視聴者の興味関心を掻き立てる動画であったことが伺える。



図3 例2の動画に対するリアクションコメント

(墨消しは筆者による)

こうした動画によるプレゼンテーションを実施した結果、学生はどのようなことを学んだのか、彼らの気づきを次章で示すことにする。

5. 学生が動画作成を通じて学んだこと

本実践で重視した3つのプロセス(3.2)ごとに、学生が各段階でどのようなことを学んだのか、実践後のコメントシートの記述を紹介する。

①ドイツ語母語話者の紹介動画を模範教材として活用

- ・生のドイツ語表現を聞き、ある程度取り入れることができた。
- ・本場のドイツ語はやはり早く、また教科書とは多少異なる生きたドイツ語を聞くことができ、表現の仕方をいろいろ学びました
- ・自分の話したい文と名詞が異なるだけの文を抜き出し、利用することが出来た
- ・口語的な表現を知ることができた。
- ・リスニング力とプレゼンで自分が発音するときに真似しようとすることによってドイツ語の発音の改善につながったと思っています。
- ・文法ができるだけでは、会話できないと感じた

ドイツ語母語話者による生のドイツ語にふれることによって、教科書では遭遇しない表現を学ぶことが可能であることや、ドイツ語の発音のブラッシュアップにも効果的であるといった肯定的な見方がある一方で、これまでの文法を中心とした学習の限界を認識した者もいた。

②自らのプレゼンテーションへ応用ならびに実践

- ・初めと比べると、どこで切って紹介すると分かりやすいかなども考えられるようになった
- ・命令形の使い方を学んだ
- ・順序だてて説明することや数詞を知ることができました
- ・順序を表す副詞（まず、次になど）使い方について学びました。
- ・（ドイツ語母語話者が使っている表現を）マネできるようになりました

内容の区切れを意識するなど、聞き手に寄り添った発表の仕方を学んだ様子が垣間見える。

③プレゼンテーションのふりかえりと今後への課題発見

- ・ドイツ語話者や日本語話者のプレゼンを多く見、自分では思いつかなかった編集やプレゼン方法に触れられたことで、かなり自分の中のレパートリーが増えたように思う
- ・ドイツ語だけでなく、どのようにしたら人に伝わりやすいかなども今回の授業を通して、考えることができ、他人の技術も学ぶことができました。
- ・DeepL や Google 翻訳したものを、自分で見直して、他の人の使っていた表現を組み込んだりすることが出来るようになった
- ・翻訳ツールに頼りすぎな部分があったと反省している
- ・翻訳機は便利ではありますが、依存しすぎないようにしたほうがいいことがよくわかりました。
- ・翻訳ツールで翻訳しただけでは正しい表現、意味なのか分からず、辞書を使って確認するということをした。この作業が大変だった。

・翻訳ツールは確かに便利であったが、余りにも直訳すぎてとても難しい表現になってしまうこともあり、工夫する必要もあるなど感じた

学習成果を互いに共有し、評価しあうことによって、自分1人では思い浮かばない発想や着眼点を得ることが出来たという声が多く寄せられた。オンラインという不慣れな授業形態ではあったが、学習成果を互いに共有し合うことが可能なツールを十分に活用することによって、他者との協働学習の促進に繋がるのではないだろうか。

しかし、オンラインツールの使い方に改善の余地が残された。多くの学生が指摘したように、とりわけ機械翻訳の便利さに魅了される反面、訳出されたドイツ語が伝えたい内容を適切に表しているのかどうか疑問を感じる声もあった。実際にデータ収集を行ったわけではないが、学生が機械翻訳を使って作成したドイツ語文を見てみると、1文が長く、文構造も複雑な例が散見された。これは、元の日本語文が長いからではないかと推測する。どの程度の長さであれば、相手にわかりやすく伝えられるのかという点も含めて、機械翻訳との上手な付き合い方を学生、教員ともに考えていく必要があると考える。

6. まとめと今後に向けて

本稿では、学習成果発信型のリアルタイムオンライン授業として、ドイツ語を使ったプレゼンテーション動画を作成する取り組みを紹介してきた。半期15回という限られた期間での実践ではあったが、15回目の授業後に出された学生のコメントを1つ紹介する。

「ドイツの学生さんのビデオを見たことにより、本当にドイツ語を話している人がいるのだ、という事が改めて感じられた。少しだけ、ドイツとの距離が縮まったかもしれない。」

1年間すでにドイツ語を学習したにもかかわらず、自らとドイツ(語)に隔たりを感じていたことが述べられている。本実践で得たその他のフィードバックをもとに、ドイツ語の運用能力を培うには、ドイツ語母語話者による生のドイツ語にふれる機会を今後より一層増やすと同時に、母語話者が使っている表現の「真似」を手始めに、徐々に自らドイツ語で発信するという一連のプロセスを今後も重視していきたい。最初はたとえ難しくても、回数を重ねていくことで、発表の技術も次第に磨かれ、当初は知らなかった単語や表現、動画の編集技術も学期後半では取り入れられるようになり、動画の完成度も飛躍的に成長した。学びの達成感を多く味わえるよう、ドイツの学生との交流の場を活用しながら、今後も引き続き学習成果発信型の授業を展開していきたい。

謝辞

本授業実践をはじめとするオンライン授業を実施するにあたり、大阪大学サイバーメディアセンターの岩居弘樹教授、大前智美准教授には、オンライン会議システム zoom の使い

方をはじめ、種々の学習支援ツールの使い方や活用方法について、さらには日独交流プロジェクトの運営に際し多大なるご指導を賜りました。心より深謝申し上げます。

参考文献

岩居弘樹（2019）「学びの成果をビデオに残す試み」『大阪大学サイバーメディア・フォーラム』 No. 19, 25-30.

大阪大学（2022）『令和4年度全学共通教育科目履修の手引』

境一三・山下一夫・吉川龍生・縣由衣子（2022）『外国語教育を変えるために』三修社

森朋子（2015）「反転授業の可能性ーアクティブラーニングの視点からー」

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/56626/ofd27_022.pdf（2023年5月27日閲覧）

参考サイト

zoom：<https://zoom.us/>（2023年5月27日閲覧）

Flip：<https://info.flip.com/en-us.html>（2023年5月27日閲覧）

ロイロノート・スクール：<https://loilonote.app/>（2023年5月27日閲覧）